

はくあい

No.40

2014. July

社会福祉法人
京都博愛会



(上) デイケアセンターとみた作品展 (5/19 ~ 24)
デイケアの利用者さまが熱心に制作された各種作品の
展示会を、今年も開催しました。

(左) 京都博愛会病院「防災(地震)訓練(5/30)」
大規模地震(震度6強)の発生を想定した防災訓練
を今回初めて実施しました。写真は、各部署の被害
状況(仮想)を災害対策本部へ報告しているところ。

医療の前線

●「新しいリハビリ機器が導入されました!!」

わが町のホームドクター

●西京区 杉江 幸彦 様

診療報酬の改定にあたって

富田病院 院長 上田 俊二

7月になり雨の多い気候となっていますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、この4月から皆様もご存じのように社会保障制度改革の一環として診療報酬が大きく改定され、病院も患者様も医療、介護の両面から影響を受けることとなっています。本改定の概要は「急性期から亜急性期、回復期等まで、患者様が状態に見合った病床でその状態にふさわしい医療を受けることができるよう、急性期医療を中心に人的・物的資源を集中投入し、入院期間を短縮して早期の家庭復帰・社会復帰を実現するとともに、受け皿となる地域の病床や在宅医療・在宅介護を充実させていく必要がある」とされています。

さらに今回の改定以降も平成37年に向けて、質の高い医療が提供される診療報酬体系の在り方の検討も含め、医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組んでいく必要があるとされています。

すなわち、病院は介護関連施設・在宅介護にも役割を分担してもらって、今まで以上に医療に専念することを求められています。この国としての方針に対して医療関係者等は再検討を要望してまいりましたが、受け入れられませんでした。我々としては不本意ではありますが、患者様に入院期間の短縮をお願いしなければならぬこともあると思います。

このような状況下でも患者様・地域に役立つ病院として努力してまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。



基本理念

【博愛】博愛の精神に基づいて、患者さまや地域の人々にやさしく、親しまれ、信頼される病院を目指します。

【協調】患者さまを中心に協調の精神でチーム医療を行います。

【健康】私たち自身の心と身体の健康に留意し、良い医療・介護・福祉を提供します。

『新しいリハビリ機器が導入されました!!』

京都博愛会病院 リハビリテーション科主任 日沖 義治

本年4月より、博愛会病院のリハビリ室へ、ツイングラビコーダ、レッドコードという機器が導入されました。

「ツイングラビコーダ（左下写真）」とは2枚のプレートの上に立ち、ふらつきを検査する機器です。検査結果はリハビリテーションの治療内容に活かされます。また、めまい・平衡障害の自覚がある方の中には耳疾患・脳血管疾患・血圧異常・自律神経失調等の恐れもあり、原因を特定する一助としても利用することが出来ます。足の裏からの感覚はバランスを取り、立位を保つには非常に重要になります。

「レッドコード（右下写真）」は一般に「スリングエクササイズセラピー」と呼ばれ、ノルウェー発祥の機器です。使用方法は手足等体を吊り下げ重力をコントロールすることで、より効果的な牽引、ストレッチ、リラクゼーションを行うことができます。また、運動器疾患だけではなく、脳卒中後の片麻痺の運動学習や介護予防のためのエクササイズにも用いることができます。

我々スタッフもこれら2つの機器を十分に使いこなし、患者様へ還していける様に勉強してまいります。



看護物語

看護師となって思うこと

富田病院 3階病棟 出島 伸子

私はこの春に看護学校を卒業し、富田病院3階病棟に入職した新人看護師です。日々、研修・ご指導いただきながら、看護業務や患者ケアを学んでいます。入職から一ヶ月を過ぎて感じていることは、「報告・連絡・相談」と「観察」の重要性です。日々の申し送り、連絡事項・指示を受けたとき、自分がその内容を正しく理解できているのかということ。その内容の何が解り、何が解っていないのか、今の自分に何ができ、何ができないのか、受け持ち患者様の容態変化に伴う必要な観察事項が解っているのか。解ったつもりで行動してしまつては、患者様に苦痛や危険な状況を与えてしまいかねません。

今の私は「報告・連絡・相談」にプラスして、「確認（復唱）」と「周囲の先輩方への〃今、〇〇しています〃の声かけ」と「実施後の確認」が必要です。解らないこと、知らないこと、できないことを明らかにし、それを解り、知り、できるようにするには、何が自分に必要な課題を見出し、それを実践することが必要です。一日の看護業務を終えたとき、自身の言動もいっしょに振り返ります。今、毎日解らないこと、できないことに遭遇しても一人で抱え込んで悩んだりすることは無くなりました。「?」や「!!」と思い、気になったことは直ちに報告・相談できるように努めています。

頭も心も一杯で人の言葉も心に入らない時期もありましたが、そんな時期も見守り、励ましてくださった皆様に支えていただき、病棟の患者様やご家族様の存在があったからこそ、乗り越えられたのだと思います。

この先、無限と思う数の乗り越えるべきハードルがあると思います。目の前のハードルを一つずつ大切に乗り越えていきます。



博愛会だより

「地域包括ケア病床」導入

富田病院

2年毎に医療費が改定されていますが、今年4月の改定は点数改定だけではなく制度的な改正もたくさん実施されました。

この制度改正の基本は【社会保障・税一体改革】として国が目指すもので、

入院・外来医療の機能分化・強化と連携で医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築を図るものです。

この入院医療の機能分化は、高度急性期（救急医療）・一般急性期・長期療養の病床をより明確に機能分化する事を推進させるもので、一般急性期の次に自宅へ帰る前の（回復期）病床として『**地域包括ケア病床**』が創られました。この病床は急性期医療の後に在宅復帰困難な患者さんを受入れ、リハビリ等の治療を提供し、相談員が在宅復帰を支援するものです。

富田病院では4月1日から一般急性期病棟の中に15床届け出て運用しています。当院は以前から掛かり付けの患者さん以外にも、大学病院や日赤での高度急性期治療後の患者さんも多く入院受入れしており、約2ヶ月の入院期間にリハビリなどの治療を受けつつ、在宅復帰を整えるお手伝いをして、殆どの患者さんは自宅等への退院に結び付けられています。

患者さんが求められる『住み慣れた地域』へ戻れるように頑張っています。今後も地域医療に貢献できる病院として努力致しますので、御支援宜しくお願いします。



わが町のホームドクター

西京区 杉江 幸彦

母が理想とした終焉の病院

病院を夫婦で梯子している前期高齢者であり、平成二年以来京都博愛会病院への信奉、片道一時間程ですが、病院の行き帰りに創設者ご夫妻の胸像に思いを寄せ、そして四季変化する深泥池の水生物等を眺めながら、時折の病院行き、いのちある今をかみしめています。

博愛会病院とのご縁の遠因は、現院長先生若き三十数歳の頃、当時先生が勤務されていた病院において、母が大手術を受けたことから始まります。快癒は勿論、その時の先生のお人柄に感激、「患者に対する慮りの配慮の言動に感銘を受けた」と母は言っていました。

その後平成二年、先生は博愛会病院に転勤されましたが、先生が行かれる病院

はお人柄が投影されるところと母は確信、追っ掛け患者としてお世話になることになりました。母にとつては理想とする病院に違わなかったようで、時折、「最期は博愛会病院にて」と漏らしていました。

晩年の数カ月は希望通り入院、平成二十二年九十五才を以て終焉。通院以来接していただけた病院の皆様からは、いつもにこやかに穏やかな面持ちで対応していただけたことが、患者は無縁家族にとつても何よりの癒しでありました。病院全体の雰囲気から私達だけの思いに留まっていらないようです。

病院には三つの理念があり、その第一番目「博愛」という言葉に興味を持ちました。英語での意味は分かりませんが、

浅薄ながら漢字では、次のようになっています。孔子の教えの中に「博く愛する之を仁と謂う、仁なる者は人を愛す」とあります。僭越且つ高慢の誇りを覚悟の上で意識しました。博愛とは「多くの人々を等しくひろく、別け隔てなく愛しく思う」となります。

まさに博愛会病院のマンパワーに秘められた精神を指しているものと、勝手な思いを巡らしています。



創設者 富田先生夫妻像
(精生先生・ふさ先生)

新しい技術も取り入れて

京都博愛会病院 栄養科主任 岩崎 由紀

医療が発展するのに合わせて、食事療法の内容も変化しています。また、食べやすい形態にするための技術も進んできています。

京都博愛会病院では、3年前より委託会社に献立作成、調理業務を委託しており、病院側では栄養指導や入院患者様の食事内容の見直し、患者食の見直しの提案を行っています。

「誤嚥」という言葉を聞かれたことがあると思います。誤嚥には、呑み込む力が弱かったり、タイミングが合わなかったり、呑み込みやすいように食べ物を口の中で細かくしたり、塊を作れなかったりと様々な原因があります。そのような患者様に合う食事を提供出来るように、当院では3年ほど前から徐々に食事の形態を増やしてきました。

もともと、おかずの形態が並食、軟菜食、きざみ食、ミキサー食等に分かれていました。その中のミキサー食は嚥む力がない方には合っていたのですが、口で呑

み込みやすい塊にするのが苦手な方には上手く対応が出来ていませんでした。そこでミキサー食をペースト状とゼリー状の二つに分けました。ゲル化剤※でゼリー状にすることによって、見た目も軟菜食に近づけられるようになり、温かいものと、冷たいものを提供することが出来るようになりました。ミキサー粥でもミキサー状のままゼリー状に固めるものに分けています。

患者様の食事サービスに携わる側としては、おいしく食べることはもちろん、新しいことを取り入れ、食べることが苦痛ではなく、楽しみであるようにお手伝いのできればと考えています。

当院は職員食も患者様と同じ食事を提供しており、年々利用者が増えてきています。委託会社の企画する年間のイベント食、季節に合わせたイベント食の日は特に人気があります。これからも患者様の要望に応えられるように、患者様の食事を見た職員も食べたくなるようなものを提供できるように努めていきます。

※ゲル化剤…ゼリー状に固める食品添加物



ミキサー食ゼリー状/マーボー豆腐
シュウマイ/春雨サラダ



ミキサー食 ペースト状



軟菜食

京都博愛会病院



整形外科部長
みしま かつゆき
三島 克之

平成26年5月から着任させて頂くことになりました。専門領域は関節外科、救急外傷ですが、整形外科全般に渡り研鑽を積んで参りました。

近年は特に高齢者の周術期における安全性の確立に力をいれています。近隣の皆さま、並びにご開業の先生方から安心、信頼される医療の提供を実践していく所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。



精神科医員
やまだ あきこ
山田 晶子

初期研修終了後は3年間小児科診療に従事し、平成25年4月から京都博愛会病院、京都大学病院精神科での勤務を経て、平成26年4月からふたたび博愛会病院の精神科に勤務させていただくこととなりました。

患者さんの毎日が少しでも過ごしやすくなるよう、ともに考えていければと思っています。よろしくお願いいたします。

新任
ドクター
紹介

京都博愛会病院

TEL:075-781-1131 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケシ山1
<http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/hakuai/>

富田病院

TEL:075-491-3241 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町56
<http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/tomita/>

訪問看護
ステーションはくあい

TEL:075-491-2711 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケシ山1
http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/hakuai_nursing/

デイケアセンターとみた

TEL:075-491-0700 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町69
http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/tomita_care/